

株式会社九州メディカル【微生物利用】

●本社 北九州市小倉北区大手町 13-4

●バイオ本部 久留米市百年公園 1-1 福岡バイオインキュベーションセンター104

確かな微生物の力で 明日を切り拓く

【事業概要】

微生物の機能を活用した「環境に負荷の少ない製品」の研究開発・製造・販売を行っています。水産養殖や公衆衛生、畜産分野を中心に製品を開発し、国内およびインドネシアやバングラデシュなどの海外で展開しています。

【製品・サービス内容】

主に海洋環境から有用微生物を探索し、科学的知見に基づいた微生物製品の研究開発に取り組んでいます。独自技術で開発した微生物製品を通じて、人々の暮らしに貢献していきます。

■ 水産養殖

ARIAKE/ARIAKE3/ARIAKE KURO：水産養殖の環境改善製品です。私たちの独自の技術を用いて、養殖環境に適応できるように、海洋環境から分離した 3,500 株から有用細菌を選抜してきました。人畜や植物に無害で安全性が高い菌株です。芽胞は熱や乾燥に強いことから、非常に品質の安定した製品となっています。芽胞は養殖環境中に投入されると、活発に増殖し、様々な効果をもたらします。この ARIAKE3 は、養殖環境を向上させ、安定させます。堆積している有機物の分解によって水質の改善をするため、魚やエビなどの生残率の上昇、成長促進と健康増進の効果があります。

PowerLac：クルマエビの消化管から分離した乳酸菌 *Lactococcus lactis*（ラクトコッカス ラクティス）を主成分として含んでいます。この菌株は、免疫賦活能や成長促進作用を示します。人畜や植物に無害で安全性が高い菌株です。この PowerLac は、養殖動物のよりよい健康管理を可能にし、生産量の向上をサポートします。

■ 公衆衛生

不快害虫用殺虫剤「モスキラー」：チョウハなどの不快害虫は、浄化槽や側溝など有機物の多い汚水で発生します。*Bacillus thuringiensis*（バチルス・チューリンジェンシス）が産生する殺虫タンパク質を主成分とした水生系不快害虫駆除剤は、ターゲットとする昆虫のみに非常に強い殺虫活性を示し環境負荷が少なく、化学殺虫剤を控えたい場所に最適です。

- 代表者 代表取締役社長 波多野 稔文
- 設立 1987年11月27日
- 資本金 5,000万円
- 従業員 75名（臨時社員等を含める）
- 電話 本社：093-592-1262
バイオ本部：0942-36-6088
- FAX 本社：093-592-0832
バイオ本部：0942-36-6088
- e-mail info-bio@kmed.co.jp
- HP-URL <http://www.kmed.co.jp/bio/>
- 連絡担当者 研究開発課 下川 智子

■ 畜産

TORIMAX：有芽胞乳酸菌、*Bacillus coagulans*（バチルス コアギュランス）を主成分とした鶏用の製品です。TORIMAX は健康な鶏の生産のお手伝いをします。耐熱性・耐乾燥性にも優れているため、飼料の形態によらずご使用いただけます。

■ 微生物資材

養豚舎から発生する悪臭の低級脂肪酸を低減する微生物など様々な分野で使用できる微生物を開発・販売しています。



ARIAKE/ARIAKE3/
ARIAKE KURO
(水産養殖用環境改善)



PowerLac
(水産用免疫賦活剤)



モスキラー
(不快害虫用殺虫剤)とオオチョウバエ